

香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	1045			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	通信ネットワーク工学科 (2018年度以前入学者)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『TOEIC L&R TESTのための基礎演習』 『英文法・語法問題Next Stage』						
担当教員	森 和憲						
到達目標							
英語習得には一定量以上のインプットが不可欠でない。本授業ではTOEICの問題演習を中心に授業を展開する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 読む力	国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで、辞書を使わずに内容を理解できる。			外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで、辞書を使えば内容を理解できる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を読んで、辞書を使えば内容を理解できない。	
評価項目2 聞く力	英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどに多少配慮せず、身近なことにに関する話や指示をパラグラフレベルで理解することができる。			英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどに多少配慮した時、身近なことにに関する話や指示をパラグラフレベルで理解することができる。		英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどに多少配慮した時、身近なことにに関する話や指示をパラグラフレベルで理解することができない。	
評価項目3 書く力	辞書や機械翻訳を使わずに接続詞、関係詞などを使った正しい英文でパラグラフレベルの英作文が出来る。			辞書や機械翻訳を使って接続詞、関係詞などを使った正しい英文でパラグラフレベルの英作文が出来る。		辞書や機械翻訳をつかって接続詞、関係詞などを使った正しい英文でパラグラフレベルの英作文が出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEIC対策として必要な文法事項を確認しながら、授業を展開する。						
授業の進め方・方法	TOEIC L&R TESTのための基礎演習を一緒に行う。 この授業は学修単位のため、自学自習として課題を課す。						
注意点	中間テストは主に教科書から出題し、期末テストはTOEIC IPを利用し、成績は第1週目で配布する別紙換算表を用いる。 。460点以上を期末テスト100点とし、以下、TOEIC 10点刻みで2点ずつ減点していく。 オフィスアワーは月曜 16:00-17:00とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス TOEICの勉強方法について		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		2週	Unit 1動詞		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		3週	Unit 2品詞と文型		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		4週	Unit 3受動態		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		5週	Unit 4時制		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		6週	Unit 5動名詞と不定詞		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		7週	Unit 13模擬問題		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		8週	中間試験		中間試験		
	2ndQ	9週	Unit 7前置詞		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		10週	Unit 8関係詞・接続詞		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		11週	Unit 9助動詞と仮定法		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		12週	Unit 10比較と形容詞		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		
		13週	Unit 11名詞表現		いろいろな題材を読み、聴解力、読解力および文法力強化を図る。 B1:1,2 B2:1,2		

				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0